

平成21年4月期 第3四半期決算短信

平成21年3月5日

上場会社名 株式会社 インファーマシーズ
 コード番号 9627 URL <http://www.ainj.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 川井 淳一
 四半期報告書提出予定日 平成21年3月17日

上場取引所 JQ

TEL 011-783-0189

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第3四半期の連結業績(平成20年5月1日～平成21年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年4月期第3四半期 | 86,058 | — | 3,594 | — | 3,433 | — | 1,541 | — |
| 20年4月期第3四半期 | 77,766 | 30.8 | 2,913 | 90.4 | 2,809 | 89.1 | 1,265 | 65.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年4月期第3四半期 | 124.92 | 124.56 |
| 20年4月期第3四半期 | 111.48 | 111.02 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|----------|--|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 21年4月期第3四半期 | 61,222 | — | 15,533 | — | 25.3 | — | 1,208.40 | |
| 20年4月期 | 57,546 | — | 12,707 | — | 20.9 | — | 1,059.78 | |

(参考) 自己資本 21年4月期第3四半期 15,499百万円 20年4月期 12,040百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年4月期 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 21年4月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 21年4月期(予想) | — | — | — | 25.00 | 25.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年4月期の連結業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 115,300 | 8.5 | 4,920 | 10.7 | 4,720 | 9.4 | 2,108 | 30.5 | 169.15 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、3～4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、3～4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年4月期第3四半期 12,829,106株 20年4月期 11,363,456株

② 期末自己株式数 21年4月期第3四半期 2,680株 20年4月期 2,456株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年4月期第3四半期 12,341,386株 20年4月期第3四半期 11,348,779株

1. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年5月1日～平成21年1月31日）におけるわが国の経済は、世界的な金融危機の深刻化とともに、輸出・生産部門をはじめ企業収益が大幅に減少し、雇用情勢及び消費動向においても、景気は急速に悪化しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局及び都市型ドラッグストアの新店による事業規模の拡大に努めるとともに、平成20年8月に株式会社セブン&アイ・ホールディングスとヘルスケア事業に関する業務・資本提携を締結し、実務レベルにおける提携協議を開始いたしました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高が860億5千8百万円（参考：前年同期比10.7%増）、経常利益は34億3千3百万円（同22.2%増）、四半期純利益は15億4千1百万円（同21.9%増）となり、いずれも順調に推移いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

医薬事業は、平成20年4月の薬価及び調剤報酬改定により、主要事業である調剤薬局の既存店収支にマイナスの影響を及ぼすなど、業界の事業環境は大きく変化しております。

当社グループにおいては、新規出店による事業拡大とともに、当社薬局管理システムの子会社への拡大配備を進め、安全性とともに薬局運営の効率性向上に取り組むことにより、収益の確保に努めております。

また、薬学部の6年制への移行に伴い、平成22年3月及び平成23年3月卒業の2年間は、新卒薬剤師の採用が困難になることから、当社グループ全体として採用活動を強化し、平成20年4月においては280人超を採用するとともに、平成21年4月の採用においても330人を超える薬剤師の採用を内定するなど、2年間の空白期間の事業拡大に対応可能な体制を確保しております。

当第3四半期連結累計期間は、既存店舗における堅調な業績推移のほか、グループ全体で事業譲渡等を含め合計12店舗の出店に加え、子会社株式会社あさひ調剤による埼玉調剤の買収と8店舗の閉店・事業譲渡を実施した結果、当社グループにおける稼動調剤薬局総数は362店舗となりました。

その結果、売上高は、757億5千9百万円、営業利益は45億5千2百万円といずれも増収増益となりました。

(物販事業)

物販事業は、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」及びコスメティック専門店「トルペ」によるコスメティック商品を中心とした専門性の高い店舗展開を進めております。

前事業年度より、新MDに基づく販売政策、在庫適正化及び「アインズポイントクラブカード」を活用した効率的な販売促進活動を中心とした収益改善を進めてまいりました。

また、株式会社セブン&アイ・ホールディングスとの事業協力関係についても、共同出店協議が順次整い、当第3四半期において複数店舗の出店が決定しております。（平成21年2月、ススキノラフィラ店、草加店の2店舗を出店済）

当第3四半期連結累計期間は、コスメティックショップ「トルペ」の店舗形態で1店舗を出店し、営業不振の2店舗を閉店いたしました。これにより子会社株式会社アイン東海を含めたドラッグストア店舗総数は44店舗となりました。

上記収益改善のための取り組みにより、ドラッグストア店舗ベースの収支は黒字転換いたしました。本部費用等共通経費を吸収するまでに至らず、売上高は101億3百万円、営業損失は1億7千3百万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は1億9千5百万円、営業損失は5千8百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より36億7千6百万円増の612億2千2百万円となりました。

主な要因は、堅調な事業推移に伴う現金及び預金の増加に加え、医薬、物販事業の出店増加に伴うたな卸資産、有形固定資産及び敷金・保証金等の発生によるものであります。

負債の残高は、8億4千9百万円増の456億8千8百万円となり、有利子負債の残高は、金利変動リスクの軽減のため、短期借入から長期借入にシフトし、一部に新たな銀行借入れが生じたことにより、7億円増となる192億7千5百万円となりました。

純資産の残高は、当第3四半期連結累計期間までの純利益のほか、(株)セブン&アイ・ホールディングスに対する第三者割当増資、(株)アインメディカルシステムズとの株式交換及び新株予約権の行使により28億2千6百万円増の155億3千3百万円となり、自己資本比率は4.4%改善となる25.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間までの新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、平成20年12月5日発表の連結業績予想（売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益）に変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、期中の第三者割当増資及び新株予約権行使等の増加株式数を反映させて算定した結果、通期では169.15円（平成20年12月5日発表は169.20円）と修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. たな卸資産の評価方法

当第3四半期におけるたな卸資産のうち、調剤薬品については、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間の実地棚卸による残高を基礎とし、合理的な方法により算定しております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

当連結会計年度の予算に基づく年間償却予定額を期間按分し、期中の取得、売却又は除却の実績を調整する方法により算定しております。

3. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められたため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

4. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法により算定しております。

5. 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が、第1四半期連結会計期間より適用されたことに伴い、調剤薬品については、従来、主として総平均法による原価法、調剤薬品以外の商品については売価還元法による原価法によっておりましたが、調剤薬品は主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、調剤薬品以外の商品は売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零として算定する定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が、リース会計適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,267,850 | 4,315,144 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,400,056 | 8,964,331 |
| 商品 | 6,299,724 | 5,264,604 |
| 貯蔵品 | 92,345 | 90,839 |
| 繰延税金資産 | 575,942 | 568,870 |
| 短期貸付金 | 622,911 | 594,282 |
| 未収入金 | 2,142,513 | 2,421,622 |
| その他 | 487,258 | 424,247 |
| 貸倒引当金 | △33,263 | △35,153 |
| 流動資産合計 | 25,855,339 | 22,608,788 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,802,861 | 5,794,583 |
| 土地 | 4,924,116 | 4,849,362 |
| その他（純額） | 1,378,788 | 918,425 |
| 有形固定資産合計 | 12,105,766 | 11,562,371 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 13,050,346 | 13,459,919 |
| その他 | 503,237 | 443,469 |
| 無形固定資産合計 | 13,553,583 | 13,903,389 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,983,879 | 1,964,107 |
| 繰延税金資産 | 1,016,423 | 884,241 |
| 敷金及び保証金 | 6,176,451 | 6,111,327 |
| その他 | 798,939 | 770,363 |
| 貸倒引当金 | △267,593 | △258,000 |
| 投資その他の資産合計 | 9,708,100 | 9,472,039 |
| 固定資産合計 | 35,367,449 | 34,937,800 |
| 資産合計 | 61,222,789 | 57,546,589 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年1月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 19,508,183 | 18,576,099 |
| 短期借入金 | 6,857,201 | 7,377,090 |
| 未払法人税等 | 312,051 | 1,214,488 |
| 預り金 | 2,796,592 | 2,704,348 |
| 賞与引当金 | 461,718 | 718,512 |
| 役員賞与引当金 | 35,976 | 42,940 |
| ポイント引当金 | 278,767 | 278,767 |
| その他 | 1,618,948 | 1,658,245 |
| 流動負債合計 | 31,869,439 | 32,570,493 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 140,000 | 472,000 |
| 長期借入金 | 12,278,648 | 10,726,414 |
| 退職給付引当金 | 846,692 | 735,294 |
| その他 | 554,042 | 334,873 |
| 固定負債合計 | 13,819,382 | 12,268,582 |
| 負債合計 | 45,688,822 | 44,839,076 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,053,646 | 3,424,170 |
| 資本剰余金 | 4,243,640 | 3,543,738 |
| 利益剰余金 | 6,541,820 | 5,207,517 |
| 自己株式 | △3,833 | △3,435 |
| 株主資本合計 | 15,835,273 | 12,171,991 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △335,808 | △131,883 |
| 評価・換算差額等合計 | △335,808 | △131,883 |
| 少数株主持分 | 34,502 | 667,405 |
| 純資産合計 | 15,533,967 | 12,707,512 |
| 負債純資産合計 | 61,222,789 | 57,546,589 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 86,058,120 |
| 売上原価 | 75,071,958 |
| 売上総利益 | 10,986,162 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,391,841 |
| 営業利益 | 3,594,320 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 27,960 |
| 受取配当金 | 15,526 |
| 受取手数料 | 41,518 |
| 不動産賃貸料 | 42,934 |
| 業務受託料 | 22,429 |
| その他 | 50,321 |
| 営業外収益合計 | 200,691 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 270,502 |
| 債権売却損 | 42,824 |
| 不動産賃貸費用 | 9,299 |
| その他 | 38,661 |
| 営業外費用合計 | 361,287 |
| 経常利益 | 3,433,723 |
| 特別利益 | |
| 投資有価証券売却益 | 582 |
| 固定資産売却益 | 7,152 |
| その他 | 7,731 |
| 特別利益合計 | 15,466 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除売却損 | 56,630 |
| 投資有価証券評価損 | 73,802 |
| 減損損失 | 39,268 |
| その他 | 81,093 |
| 特別損失合計 | 250,796 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,198,394 |
| 法人税等 | 1,657,777 |
| 少数株主損失(△) | △1,115 |
| 四半期純利益 | 1,541,732 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日) | |
|---|-------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,198,394 |
| 減価償却費 | 811,354 |
| 減損損失 | 39,268 |
| のれん償却額 | 586,200 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 73,802 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 111,397 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △256,794 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △6,963 |
| 受取利息及び受取配当金 | △43,487 |
| 支払利息 | 270,502 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | 49,478 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 612,081 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,024,333 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 877,331 |
| その他 | 364,295 |
| 小計 | 5,662,527 |
| 利息及び配当金の受取額 | 40,382 |
| 利息の支払額 | △270,279 |
| 法人税等の支払額 | △2,611,219 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,821,411 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,076,413 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 85,051 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △466,744 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1,264 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △179,675 |
| 貸付けによる支出 | △84,622 |
| 貸付金の回収による収入 | 85,788 |
| 定期預金の預入による支出 | △24 |
| 定期預金の払戻による収入 | 120,024 |
| その他 | △319,564 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,834,916 |

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年5月1日
 至 平成21年1月31日)

| | |
|----------------------|-------------|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入れによる収入 | 9,310,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △10,748,000 |
| 長期借入れによる収入 | 4,400,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,929,655 |
| 社債の償還による支出 | △332,000 |
| 株式の発行による収入 | 1,666,924 |
| リース債務の返済による支出 | △33,709 |
| 自己株式の取得による支出 | △397 |
| 配当金の支払額 | △227,220 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △19,730 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,086,211 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,072,706 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,195,144 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,267,850 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成21年1月31日）

| | 医薬事業 | 物販事業 | その他の事業 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------------|------------|------------|---------|------------|----------|------------|
| | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 75,759,427 | 10,103,574 | 195,118 | 86,058,120 | - | 86,058,120 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | 4,500 | 14,060 | 18,560 | △18,560 | - |
| 計 | 75,759,427 | 10,108,074 | 209,179 | 86,076,681 | △18,560 | 86,058,120 |
| 営業利益（又は営業損失（△）） | 4,552,251 | △173,877 | △58,038 | 4,320,335 | △726,014 | 3,594,320 |

(注) 1. 事業区分の方法

内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主な内容は、次のとおりであります。

医薬事業……………調剤薬局の経営、フランチャイズ業、人材派遣・紹介業及びコンサルティング業、
医薬品の販売、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の販売

物販事業……………医薬品、化粧品、家庭雑貨等の販売、フランチャイズ業、ショッピングセンター開設
に係るコンサルタント、薬局の経営

その他の事業……………不動産賃貸業等

3. 会計処理の方法の変更

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を早期適用しております。

この変更に伴い、「医薬事業」の営業利益が影響を受けておりますが、影響額については軽微であります。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成21年1月31日）

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成21年1月31日）

海外での売上高がないため該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年8月26日付で、株式会社セブン&アイ・ホールディングスを引受先とする第三者割当増資を行いました。このほか、平成20年6月1日付の株式会社アインメディカルシステムズとの株式交換及び当第3四半期連結累計期間における新株予約権の行使により、資本金が16億2千9百万円、資本準備金が6億9千9百万円増加しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における資本金が50億5千3百万円、資本準備金が32億4千3百万円となっております。

なお、第三者割当増資により得た資金につきましては、現在のところ将来の投資に備え、内部留保しております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年5月1日～平成20年1月31日)

| 科目 | 前年同四半期 (平成20年4月期 第3四半期) |
|----------------|-------------------------------|
| | 金額(千円) |
| I 売上高 | 77,766,943 |
| II 売上原価 | 68,065,018 |
| 売上総利益 | 9,701,924 |
| III 販売費及び一般管理費 | 6,788,890 |
| 営業利益 | 2,913,034 |
| IV 営業外収益 | 258,983 |
| V 営業外費用 | 362,492 |
| 経常利益 | 2,809,525 |
| VI 特別利益 | 414,947 |
| VII 特別損失 | 478,293 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,746,179 |
| 法人税等 | 1,400,032 |
| 少数株主利益 | 80,974 |
| 四半期純利益 | 1,265,172 |